

郷土づくりの担い手情報紙

# BUILDERS VOICE

ビルダース・ボイス

# 48

SPRING  
2002.4



小笠山総合運動公園・静岡アリーナ(通称エコパアリーナ)



FUKUROI BUILDER'S ASSOCIATION  
(社)袋井建設業協会

# 特集 若杉新会長に 聞く



会長就任にあたって抱負をお願いします。

3月20日に開催された平成13年度通常総会で第十一代会長として選出された若杉吉明氏。若杉新会長の父・若杉庄吉氏故人も第二代の袋井建設業協会々長として活躍されました。今回の若杉新会長誕生は、初代会長の故・馬場幸吉氏と第五代会長馬場邦夫氏に続き親子二代による会長就任となりました。

就任して間もない若杉新会長に広報部会では会長就任にあたっての抱負などをお聞きしました。若杉会長は、本当に厳しい大変な時代に大役を仰せつかった」と責任の重さに困惑しながらも、逆に厳しい時代だからこそ、ビジネスチャンスも広がるはず。会員全員の今まで培ってきた技術とノウハウを結集して、会員個々では具体化が困難なPFIなどを含めて、出来る限り会員の受注機会の拡大を図りながら、この難関を突破していきたいと力強く抱負を述べられました。  
(聞き手・鈴木和男広報担当部長)

若杉 最近の大手ゼネコンの淘汰を見るまでもなく、大変厳しい時代がこれからも当分続くと予想されます。特に行政の財政難から公共投資の予算は年々縮小され、合わせてコスト縮減という目に見えない予算のカットで企業の経営を圧迫しています。

また、昨年の四月から施行された公共工事の入札契約の適正化法も間違いなく多すぎると思われる建設業者の淘汰を狙った法律ですから、益々逆風が続くと予想されます。

しかしながら、我々も手をこまねいて待つという訳にはいきません。やはり、地元企業として施工可能な工事については積極的にお願いして、なんとしても会員の受注機会の拡大を図っていくのが、私

の責務と考えています。

また、資金と時間がかかるPFIなどは会員個々の企業では対応できないため、協会が中心となって事業提案できるような体制作りにも着手したいと思っています。



袋井協会管内は今まで小笠山関連の仕事があり、県内でもほかの地区と比較して大変恵まれていたと思いますが、

若杉 多少バブル気味だったということでしょう。小笠山関連の工事が峠を越したということは、逆にこれからが大変な時代に入ってしまったという裏返しだと思います。静岡県の予算についても、静岡空港とその関連の整備工事の方に割り当てられていくために、そのほかの地区への予算の振り分けは、一層厳しくなると予想しています。

そのため、先ほど申し上げたように何としても会員の受注の機会を増やさない限り、淘汰という厳しい現実が待っているだけです。例えば、福田漁港の整備でも充分袋井管内の業者で出来る工事があります。福田漁港だけでなく、各市町村の下水道工事、舗装工事などいろいろの工事にも目を向けながら、各方面にお願いすることも大切だと感じています。



工事量の減少も深刻な事態ですが、2004年から国土交通省で実施される建設CALS/ECも会員の皆さんにとっては頭の痛い話だと思います。

若杉 この建設CALSも会員の一部の企業でパイロット事業として工事を担当していますが、お話を聞く限りでは大変

な努力と時間とコストが掛かっているように聞いています。これは、発注者側もまだ馴れていないということも影響していると思いますが、なによりも通信ネットワークを利用して効率的に情報を交換し、共有・連携するためのツールですから、地元企業としては、周辺機器の整備や人材育成など含めて対応していかなければ淘汰されるということだと思います。

幸い、前会長の井谷会長のご指導で会員全員にメールアドレスを取得していたのだとお陰で、その基本となる下地は出来ていると思います。また、協会の組織変更に伴って情報・IT対策委員会の中にIT部会が出来ますから、IT部会から提言をいただき、ごんごん研修会など開催して会員皆さんには馴れて欲しいと思っています。



最近、駿河湾を中心とする東海地震や東南海地震が来るのではと報道され、静岡県全体も防災対策強化地域に指定されています。

若杉 地元の企業としては、いつでも対応できる体制を取っています。協会は、すでに国土交通省浜松工事事務所との災害協定の締結をし、県袋井土木事務所とも災害協定を結んでいます。万が一の災害発生時にはどこよりも早く対応して、住民の生活を守っていくことが使命と思っています。



災害発生時の対策にも通じると思いますが、袋井協会管内で道路を含めたアクセスについては、

若杉 自身はどうしても車での移動が多いため、欧米などと比較して道路を含め

てまだまだ社会資本の整備という点では遅れていると感じます。こまかい点は省かせていただきますが、通勤など急いでいる朝夕の時間帯にこそスムーズに通行できるような道路整備が必要だと思います。昼の通行時間と比較して三倍も四倍も時間がかかるような道路や交差点は、ドライバーの心理的な面から交通事故が起りやすく、袋井協会管内では交通事故が多発している地区もあることから交通安全ということも考えていかなければ…。いろいろな面でどこかに問題があるはずなので、こつこつた点も地域の建設業者として提案して行きたいと思っています。



また、建設中の静岡空港からエコパ、そして浜松まで続く幹線道路の整備も必要だと思っています。特に常滑沖に建設中の中部新空港が完成すると、現在の名古屋空港からも地理的に遠くなり、必然的に静岡空港への利用が高まります。静岡空港は静岡市周辺の人が利用するだけでなく、愛知県の三河方面の人達も利用すると聞いています。空港、エコパ、浜松中心市街地を結ぶアクセスは静岡空港の利用者にとっても大切なルートになると感じています。



最後に行政へのお願いと会員への要望をお願いします。

若杉 行政へのお願いは、なんといいっても地元の工事は地元企業の発注をお願いします。地元企業が施工能力のない工事を欲しいと言っているのではなく、地元で出来る工事は地元企業に発注をと思っています。なによりもこの地域のことを熟知しているのですから…。

会員への要望は、昨今の大手ゼネコンの倒産にみるように建設業界大淘汰時代に突入しました。どうか大変な事態に巻き込まれないように経営基盤の安定を図って欲しいと思っています。そのためには、もっと会員企業自身がレベルアップを図ることが大切で、具体的には技術者の育成も重要だし、コストの管理能力、品質管理など取り組む課題が沢山あると思います。

それと工事は安全第一でお願いします。安全第一が企業経営のすべての根源だと認識いただいて無事故・無災害で明るい職場作りにも邁進して欲しいと願っています。



長時間ありがとうございました。



広報担当部長 鈴木 和男

## 前会長へ挨拶

社団法人袋井建設業協会前会長

(平成10年4月～平成14年3月2期4年会長)

井谷 利男



平成10年3月の通常総会において袋井建設業協会の会長に推挙されました。私自身その後当協会の創立50周年を迎えることを改めて知ることができまして、身の引き締る思いを致しましたと同時に、歴代の会長になられた方は全部業界の老舗の社長さんで、私の様に製材業と二足の草鞋を履いた会長はいないし、又、私は戦後30年に何の経験もない業界に飛び込んだ者でしたので、伝統ある袋井建設業協会の会長ではとしばらく考えてみた事もあります。しかし折角皆様のご推挙をいただいた事ですので、出来ないなりに全力投球しないと改めて考えました。

先ず協会の事業として始めましたのは50周年の記念式典の時期とその方法。又同時に50周年の記念誌の発刊が記念式典当時までにお客様にお渡し可能かどうかを、記念式典の委員長は塚本建設社長塚本氏に、記念誌の編集委員長は鈴木組社長鈴木氏にお願いすることに決定し、それぞれの部会に委員を配置して準備を進めまして、式典は平成10年10月掛川グランドホテルにて関係のご来賓をお招きして盛大に行い、記念誌は翌年5月それぞれの関係方面にお配り致しました。記念式典、記念誌発刊に携わった関係の皆様には大変のご苦労をおかけ申し上げました事を改めて厚くお礼申し上げます。

## 新副会長に就任された方々

また、全世界が注目しているW杯サッカー大会、が袋井管内の小笠山総合運動公園の、エコパで開催される運びとなりました。私共地元の協会としては、できる限りの総力をあげて工事受注の努力を致しまして、全員が満足の受注とはいきませんが、ある程度の満足感をみしたたではないかと思っております。

建設業界は急激な情報化へと向かって居ります。会員の皆様にはよくご理解を願います。アドレシの取得をお願い致しましたところ、全員取得していただきました。この事は県内10協会ありますが、私共袋井建設業協会だけの快挙ではないかと自負して居ります。

終わりにお陰様で任期4年無事大過なく務められましたのも、会員皆様の絶大なご協力の賜物と改めて感謝申し上げます。



石川建設株式会社  
石川 大造



株式会社川島組  
氏原 功



塚本建設株式会社  
塚本 正樹



# 建設 STATION

着々と建設・改良が進む小笠山総合運動公園周辺アクセス道路「法多山周辺」  
**平成13年度 袋井市道宝野菩提線道路改築工事**

着工前



**工事内容**

工 事 名 平成13年度 市道宝野菩提線  
 道路改築工事  
 発 注 者 袋井市役所 土木課  
 請負金額 33,600,000円  
 施工延長 約200m  
 施 工 者 株式会社 五十嵐組

施工中



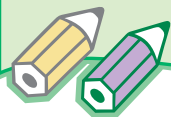
工事ひとくちメモ

**株式会社 五十嵐組**

現場代理人 **名倉寿三夫**

本工事は袋井駅方面から法多山若しくは小笠山方面に通じる市道の改良工事です。両側歩道付きの幅員12mの道路です。深さ1mほどの路床改良があり市上水のほかに農業用の水道本管が埋設されていて大変でした。

また、みなさんご存知のとおりこのあたりは 茶所豊沢 の名の通り一面茶畑です。工事中の埃はお茶に悪影響をおよぼしますので、掘削・積み込み・搬出等、常に埃対策への気配りでした。そして年末・年始の法多山尊永寺への初詣客や車両はすごいもので、1月中は仕事になりませんでした。とはいうものの、事故もなく工事完了で、ホッとしました。

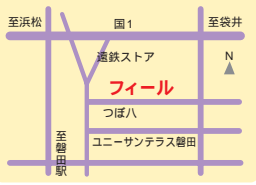


完成



☎0120-12-5420 (携帯電話からも可能)  
☎0538-37-5420

磐田市今之浦 5927-1  
(JR 磐田駅より車で5分)  
駐車場完備  
受付時間  
カット / 9:00 ~ 18:00  
パーマ / 9:00 ~ 17:00  
定休日 / 毎週月曜、第3日・火曜  
予約優先



「もっときれいに、もっと楽しく、もっと気持ちよく」がヘアメイクアップ「feel」さんのコンセプト。お客さんの可愛いところ、美しいところをバランスよく引き出し、ヘアスタイルとメイクアップでなりたいたいというリクエストに応えるとともに、アフターケアやメイクなどのアドバイスも行っている。

また、ヘアサロンにとって居心地の良い空間とは何かを常に考え、接客技術も含めた価値のあるサービスの提供も追求しているとか。

磐田市今之浦の本店のテーマカラーは、ピンクとシルバー。個性的な外観にリゾートカフェをイメージした吹き抜けのあるフロア。店内は広々としたスペースで、特に明るい雰囲気がお客さんに受け入れられている。

佐鳴湖畔でポップでキュートなヘアスタイルリングを提供している浜松店は、オープンカフェスタイルのフロアにアクセントカラーの白と黄色がとってもおもしろい。ネイル&フットケアのメニューも充実している。

袋井市上山梨のパーティオ内にあるのが袋井店。店内はアトリエ感覚で自由な空間が楽しめる。特にスタイリングとシヨッピングが一度に楽しめる好評。

磐田市国府台の磐田店は、トレンドを意識しながらも、遊び心とキラリと光る個性が定評との評判。

いずれのお店も、美の情報発信スポットとしてその機能を発揮するとともに、質の高い美を追求し続けている「お客様のためのヘアサロン」。

冒頭、「内助の功らしきことは、何一つしていませんが…」とちよっぴり心細そう。

奥様の美奈子さんは、短大卒業後、広瀬農協(現・遠州中央農協広瀬支店)に勤務、入社してもうそろそろ9年目を迎えるようとしていた時、遠い親戚の方からの紹介でお会いしたのがご主人の弘氏。

一方、ご主人の弘氏も平成元年には東京都大田区的设计事務所を退社して、磐田市に戻り家業を継いだ。どこでも最初は現場廻り、バブル経済の影響でそれこ



PROFILE  
プロフィール  
出身 / 豊岡村 \* 年齢 / 39歳 \* 趣味 / 読書

代表取締役社長夫人 松村美奈子さん

内助の功 (会社紹介)

### 会社紹介

創業 / 昭和26年4月  
法人化 / 昭和41年2月  
資本金 / 3,000万円  
従業員 / 18人

そ目の廻るような忙しさの中、初めて逢ったのが、平成2年12月、磐田グランドホテル一階の喫茶店。初対面での奥様は建設業界のことは良く分からなかったが、「とにかく優しく、真面目そう」という印象を受けたとか。

その後、食事や映画などに3、4回のデートを重ね翌年の6月には結婚を決意され、平成3年12月15日、浜松駅前の浜松名鉄ホテルで結婚されました。

その後、2男1女にも恵まれたため、冒頭の発言のように家事に専念、会社のこととはまったく分からなかった。長女の美里さんは小学校3年生、長男の健弘くんは幼稚園の年長さん、次男の和典くんは幼稚園の年少さん。「やっとこの4月から子供達が手を離れたので、何か新しいことにチャレンジしたい」と意欲的。

休みの日には子供の相手をしてくれることには感謝しているが、なによりも「健康第一」。そのためには、「一日40程度吸っているタバコをせめて半分にして欲しい」と切なるお願い。業界の厳しさが増している今日この頃、子育てが終わってまさしくこれからが内助の功の舞台に立つ時!?

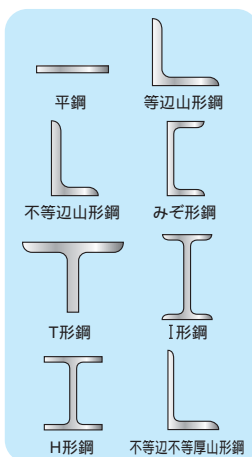


# アンテナ

## 鉄骨鋼材のいろいろ

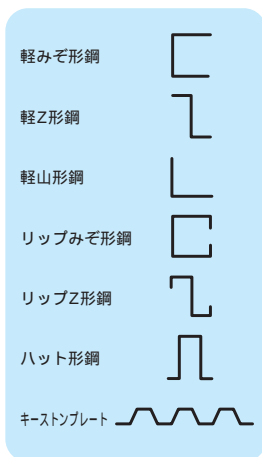
私たちの周囲にはいろいろな金属が使われています。その中でも鉄はいろいろな形やいろをして利用され人類の発展に大変重要な役割を果たしてきました。

今回は、その中でも土木・建築に使われている熱間圧延形鋼を紹介します。それぞれの断面の形から名称がつけられたもので構造物若しくは構造補助材として使われています。

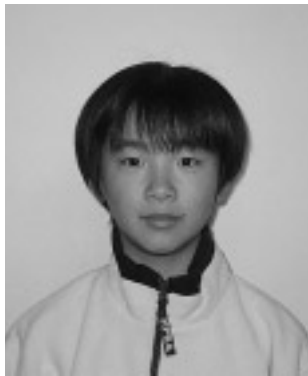


そのほかにも寸法も小型で一般的に肉厚が薄い軽量形鋼があります。

軽みぞ形鋼 軽Z形鋼 軽山形鋼  
リップみぞ形鋼 リップZ形鋼 ハット形鋼 デッキプレート キーストンプレート などがありますが興味のある人は調べてみてください。(N.S)



# 未来の声



大須賀中学校2年生 博林 由維くん

貴重な体験をしましたね。自分が関わった現場が完成して、みんなが住みやすく安全な町になっていく喜びは大きいことでしょう。この経験から学んだことを忘れてないでこれからの生活に生かしてってくださいね。

ぼくは、夏休みに父の会社で友達3人と体験学習をやりました。8時前に会社の事務所に集合して、8時に工事現場に行きました。現場にはたくさんの方が働いていました。そこで、最初に生コンクリートの仕事をやりました。運ばれてきた生コンクリートをじよれんで、広げまくって広げるのが大変でした。そして広げた後を働いている人が上手にコンクリートゴテを使って、平らに均してました。午後からは、側溝の埋め戻しの仕事をやりました。まず、側溝の上に板を置いて、その上にコンボが土を載せて、それを側溝の横に落とし、じよれんで側溝の高さに合わせ、そのあと土を足で踏んで固めました。でも側溝はすくたくさ

ん並んでいて全部やるなんてとても無理だと思いました。でもみんな協力してがんばりました。途中で働いている人も手伝ってくれました。仕事は、5時に終わり会社に帰りました。ぼくが、この体験学習で学んだことは、一つの仕事を完成させるためには、いろいろな人が協力してものを作っていくと、言うことです。ぼくが体験学習をした現場が、誰かの役に立っていると思うと、うれしいです。



体験学習

## 学校紹介 大須賀町立大須賀中学校



校舎外観

本校は、大須賀町の中央部山沿いの西大谷川の西岸に位置し、三方緑に囲まれ、南に遠州灘を望むすばらしい環境に恵まれています。創立は昭和22年で、昭和25年に大淵中

学校と合併し、横須賀町大淵村組合立横須賀中学校と改称されました。現在の校名は、昭和31年の町村合併により改称されたものです。校庭にはたくさんさんの樹木が繁り長い歴史を感じます。

大須賀町は、アメリカ・ニューヨーク州のコーニング市と平成2年に姉妹都市が締結され、毎年中学生10名、教員1名が友好訪問団として約1週間派遣されています。町の方針としても教育に熱心で、地域、保護者も学校に協力的です。PTA活動も、年2回の会報発行、ふれあい活動や奉仕活動など特色ある活動が盛んに行われています。

生徒数462名、15学級の適正規模の学校です。悠然園、優芽園、雄飛園、若駒園の4園と有心の池があります。それぞれに卒業生が残していったものです。悠然園にちなんだ悠然祭では各学級合唱が町中央公民館で行われ、多くの方に感動を呼んでいます。生徒の手による体育大会もすばらしい伝統になっています。生徒会活動や部活動に熱心に取り組んだり、ボランティア活動に進んで参加する生徒が多いのも本校の特色の一つです。

平成16年完成を目的に新校舎建設が着々と進められています。地域の期待は大きいです。生徒たちも、「スタートを気持ちよく」、「わかった、できたを積み上げよう」を合い言葉に、勉強や運動にがんばっています。将来は社会の一員として、自らに誇りを持ち、他の人と協力して貢献できるよう日々努力しています。



# 時評 THE VOICE

## 欲しいISO14001

品質のISO9000Sが、入札の参加条件になるとの喧伝から、県内の建設業者に認証取得がブームとなり、それぞれの思惑で運用、維持が計られ、またこれから取得のために検討、準備を進めている業者もあることでしょう。

品質の90001の規格にあったシステムは、顧客の要求を第一に考え「施主満足」に最善を尽くすことでありますから、社内部門の責任と権限が明確となり、加えて情報の伝達と確認の手段が手順化します。

また21世紀は「環境の世紀」のキーワードのなか、出来得る限り多数の業者が環境の14001の規格にあつたシステムを構築して、環境に配慮した活動の運用、維持を一刻も早く計ることでありましょう。

私達業者は、地域社会の一員であり、地域社会に支えられています。地域の発展こそが業界の成長に不可欠だろうと思うのです。

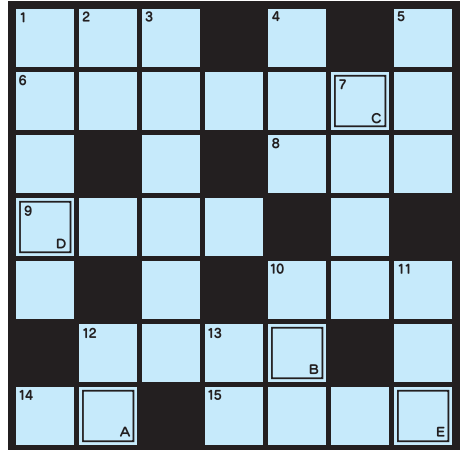
私達が安全、安心、安寧な地域社会の維持、発展にたとえ僅かでも貢献することで、業界のそして業者への社会的評価がアップされるものと、堅く信じております。(T・I)

第48回



# クイズコーナー

川柳クロスワード



解き方

A・Eの5文字を空所に入れて、つぎの川柳を完成させてください。

川柳

出やすいけれど 取りにくい

ヨコのかぎ

①ピヨピヨはねるこの動物はなぜか

一羽、二羽と数えます。

⑥リクライニング・シートに冷蔵庫、カラオケ等を備えた観光バス。

⑧女の子が、増えたと嘆くもの。

⑨自転車によるカケッコ。



⑩華やかなドラフト1位の選手がいるか

と思うと、 を受けて入ってくる

選手もいる。

⑫ 小豆の皮などを取り除いて作ったあんこ。

⑭ 全くお前は をやったもんだ。このドジ、バカ、間抜け!

⑮ あいつのタバコ好きもあきれたもんだ。 ありや 中毒だよ。

タテのかぎ

① ふつう左手にあり、一日に何度も見ます。

② カツパの頭の上に一枚。

③ 重い物を持ち上げた時などにイテテ。

④ 一人に、ムコ8人。

⑤ イタリアのマカロニ、

スパゲッティ等めん類の総称。

⑦ 好きなスポーツをやったり、旅をしりして大いに楽しみたいもの。

⑩ 一人ずつ名前を呼んで人数を調べます。

⑪ 将棋の、歩が成って金になったもの。

⑫ 決勝戦に を進めた。

⑬ 貴乃花、若乃花でいえば若乃花の方。

応募方法

官製ハガキにクイズの答えと住所・氏名・年令・電話番号・勤務先(学校)名と必ず近況・感想などをご記入のうえ

〒437 0024 袋井市三門町11の12 袋井建設業協会内 広報部会クイズ係

あてにお送りください。

締切

平成14年5月15日到着分

発表

「ビルダーズ・ボイス」49号紙上にて

賞品

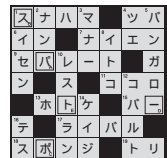
正解者の中から抽選で、2名様に各々2千円の図書券をプレゼント。但し「近況」感想」が記入されてなければ無効とします。

第47回クイズ当選者

大場秀一様 森町役場勤務)

伊藤 翠様 掛川市立西中2年在学)

前回の正解



答え  
パスポート

## 読者通信

いつも楽しく読ませていただいております。大変勉強になります。

大場秀一様 森町在住・34才)

友だちの友だちがのってていてビックリ! 私はエコパの近くに住んでいます。(歩いて20分位)まわりは整備されて、どんなきれいになっています。人間の力つてすごいなーと思います。でもうちの近所は昔のままです。(いなか...)こんなに近くてもW杯は行けなくて、くやしいです。

伊藤 翠様 掛川市在住・14才)

## 出題者のひとり言

冬期オリンピックでの日本のメダル激減は目を覆うばかりでした。それも新顔の台頭が見られず、ベテランのみの受賞。JOCは強化選手育成にもっと知恵と力を注ぐべきではないでしょうか? 日本経済もしかりで、新産業・ベンチャー企業の育成によって、デフレからの脱皮、そして成長軌道に乗って行くのではないのでしょうか。さて我々建設業界のベンチャーとは、環境・高齢化・少子化がキーワードになると思われますが...。(K・S)

# 郷土づくりに

## 東遠カルチャーパーク (仮称)大池公園総合体育館



完成予想図

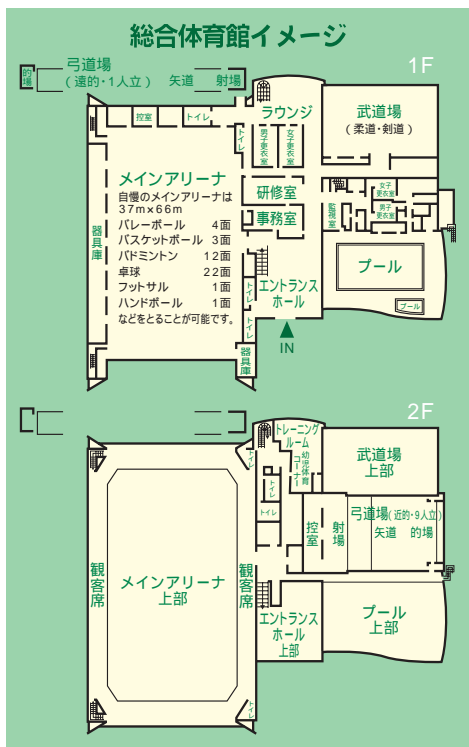


平成14年6月にエコパでワールドカップサッカーが開かれ、翌15年には静岡県を会場に第58回国民体育大会と第3回国障害者スポーツ大会が開かれます。わたしたちの身近なところで世界的な大会や国内最大級の大会が相次いで行われ、スポーツ愛好者のみならず楽しみなスポーツイベントがめぐる押しです。

このような中、掛川市内にも新たなスポーツ施設が誕生します。地域のみなさんからの設置要望が高かった総合体育館建設事業が、東遠定住圏施設組合が事業主体となり、平成15年10月のオープンを目指し工事が着手されました。この施設は、地域のみなさんの要望事項を設計に取り入れ、競技団体だけでなく、より多くのみなさんが利用できる施設を目指しており、あらゆる人のライフスタイルに対応できるさまざまなメニューが用意された、生涯スポーツの拠点となることが期待されます。

### 体育館の概要

構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造
面積	建築面積 7,800m <sup>2</sup> 延床面積 10,600m <sup>2</sup>
駐車場	普通車202台(既設97台、新設105台) 障害者専用3台(新設)、大型10台(既設)
駐輪場	150台(新設)



### 表紙の ことば

小笠山総合運動公園の静岡スタジアム・エコパに隣接してつくられた「静岡アリーナ」(通称エコパアリーナ)がオープンし、去る3月9日、こけら落としとして女子バスケトボール日本リーグの「第3回Wリーグファイナル第2戦・静岡アリーナオープン記念静岡大会」が行われ、地元静岡のシャノンとジャパンエナジーが対戦しました。また平成15年には国体バスケトボールの競技会場となります。

ビルダーズボイス第四十八号 発行 袋井建設業協会



袋井高校ALT(英語指導助手)  
イレイン・ケントさん(24才)  
Elaine Kent



イレインさんは平成12年7月、袋井高校のALT(英語指導助手)として赴任してきました。出身地は、アイルランドのウェクスフォードという人口約2万人の

(ALT=Assistant Language Teacher)  
誠実で勤勉、思いやりに溢れている素敵な女性です。袋井高校では、だれにでも優しく、素敵な笑顔で接してくれています。

町で、特産品はイチゴだそうです。また、町内にある港にはたくさん漁船が停泊しており、常に新鮮な魚が入るけれども、日本のように「さしみ」にして食べることはなくて、煮たり、焼いたり、フライにして食べているようです。日本に来て1年半。好きな食べ物や苦手な食べ物もはっきりしてきたようです。法多山へ行った時に「おだんご」を食べたけれどもダメだったようです。納豆もダメ。「おすし」は好きだそうです。海苔が苦手なので、海苔のついた「おすし」は嫌いだそうです。

